

ゆかりびと

第 19 回

K-1ジム・ウルフ所属

松川

侑空ゆうあ

さん（泉小学校6年）

支えてくれるみんなのために
次に狙うは「K-1甲子園王者」



「夢はK-1甲子園で優勝して、プロデビューして、お金を稼げる世界王者になること」と笑顔を見せる侑空さんは、泉小学校に通う小学生。3月23日に開催されたK-1アマチュア全日本大会5・6年生軽量級で優勝し、わずか11歳で日本一の称号を手に入れたK-1界の大物ルーキーです。「K-1をやりたい」そうお母さんにお願したのは4歳の頃。年末にテレビで放送される試合を家族で楽しく見ていたことがきっかけで大好きになったと言います。4歳でキャリアをスタートし、小学校入学時に、更なる高みを目指し、たくさんのプロ選手を輩出しているK-1ジム・ウルフ（壬生町）に移籍しました。ジムの会長は、普段の練習はもちろん試合中のセコンドも務めてくれていて、いつもの確な指示をくれる会長と2人3脚で勝利を重ねます。「減量中は特に食事の準備が大変」と話すお母さんも、アスリート栄養食インストラクターの資格を取って食生活を管理したり、往復3時間かかるジムへの送迎をしたりするなど全面サポート。ジムがない日は、スポンサーとして支えてくれている矢板僕接骨院はなぶせが、トレーニング場所を提供してくれたり、試合にはトレーナーとして帯同してくれたり。成長を見守るジムの皆さんや家族、地域の支えと共に日々、練習に励んでいます。

また、会長から「自分の学びにもつながるから」と提案され、低学年のコーチも任されていると言います。週3・4日通うジムの日は、19時から20時半まで低学年クラスの指導、その後23時まで自分のトレーニングをし、夜中に帰宅します。

「上達すると楽しい。もっと強くなりたいから」そう話す侑空さんにとっては、過酷に見える日課も夢へ向かう道のりの一歩。K-1と向き合う時間が多ければ多いほどうれしいと言います。稼いだお金の使い道を聞くと「引退後、矢板市でジムを開いて地域に恩返しを」と話す侑空さん。地域への感謝を胸に世界へ羽ばたきます。